



Stealthwatch セキュリティ分析のトラブルシューティング

Stealthwatch セキュリティ分析サービスでは、GUI 内にエラーメッセージを表示して、アプリケーションの使用に可能な限り問題がないことを確認します。エラーメッセージとは別に、この章の情報をを使用して、発生している可能性のある問題をトラブルシューティングできます。

- [監査ログの表示](#) (1 ページ)
- [タスクマネージャを使用したトラブルシューティング](#) (2 ページ)
- [サポート対象デバイスのトラブルシューティング](#) (2 ページ)

監査ログの表示

監査ログは、Cisco DNA Centerで実行されているさまざまなアプリケーションに関する情報を取得します。

ステップ 1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**[Activity]** > **[Audit Logs]** の順に選択します。

[Audit Logs] ウィンドウが表示され、システム全体で発生した内容に関するログを表示できます。

各監査ログについて、次の情報が表示されます。

- **Description** : 監査ログの説明
- **サイト (Site)** : 特定の監査ログのサイトの名前
- **デバイス (Device)** : 監査ログのデバイス (複数可)
- **Requestor** : ログに記録されているアクションを要求するユーザー
- **送信元 (Source)** : 監査ログの送信元
- **Created On** : 監査ログが作成された日付

ステップ 2 対応する子監査ログを表示するには、監査ログに対応する矢印を展開します。

(注) 監査ログは、Cisco DNA Centerによって実行されたタスクに関するデータをキャプチャします。子監査ログは、Cisco DNA Centerによって実行されたタスクのサブタスクです。

ステップ3 [フィルタ (Filter)]アイコンをクリックし、特定のパラメータを入力してから、[適用 (Apply)]をクリックして監査ログをフィルタ処理します。

次のパラメータを使用して監査ログをフィルタ処理できます。

- 説明
- サイト
- [デバイス (Device)]
- Requestor
- [Source]
- 開始日 (Start Date)
- 終了日 (End Date)

ステップ4 (オプション) ウィンドウに表示されるデータを更新するには、アプリケーション画面の右上にある二重矢印アイコンをクリックします。

ステップ5 (オプション) [Log Id] をクリックしてログの ID を表示し、クリップボードにコピーします。

タスクマネージャを使用したトラブルシューティング

ステップ1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Activity] > [Tasks] の順に選択します。

ステップ2 リストで失敗したタスクを特定し、クリックして詳細を表示します。

(注) 1つのタスクに複数のデバイスを含めることができます。タスクに含まれる他のデバイスが成功しても、1つのデバイスで障害が発生した場合、タスクの全体的なステータスは[Failed]と表示されます。

サポート対象デバイスのトラブルシューティング

次に、サポート対象デバイスで発生する一般的な問題のトラブルシューティングを示します。

デバイスがリストされていない

Cisco DNA Center に Stealthwatch セキュリティ分析を有効または無効にするデバイスがリストされていない場合は、次のことを確認してください。

- Cisco ASR および ISR シリーズのルータを使用している場合は、[Device Role] が [Border Router] に設定されています。
- Cisco 9300 および 9400 シリーズのスイッチを使用している場合は、[Device Role] が [Access] に設定されています。
- デバイスがファブリックの一部でない場合は、[Device Role] が [Distribution] に設定されています。

■ デバイスがリストされていない

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。